

「うみかぜセミナー：発達障がいと遊び、学び」のご案内

滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクトでは、子どもたちの健やかな育ちを応援するため、さまざまなとりくみをおこなってきました。発達心理学、栄養学、助産学分野の研究をはじめ、母子支援活動を進めて、子育てに携わっているみなさんと幅広く連携していきたいと考えています。今年度も「うみかぜセミナー：発達障がいと遊び、学び（全3回）」を開催することになりました。本セミナーでは、主に保育士や教員、臨床発達心理士など子育て支援にかかわる方々を対象に、「保育と発達支援の専門性」を高める研修の場となることをめざしています。上記専門職以外で関心をお持ちの方々、当事者／保護者のご来聴も歓迎いたします。

＜セミナー実施日程＞

第1回 2011年11月20日（日）木村 順氏（作業療法士、療育塾ドリームタイム主宰）講演
「育てにくい子にはわけがある」

第2回 2011年12月17日（土）赤木和重氏（神戸大学大学院人間発達環境学研究所准教授）講演
「楽しい保育・楽しい授業と特別支援教育」

第3回 2012年 2月18日（土）神谷栄司氏（京都橘大学人間発達学部教授）講演
「子どもの『遊びにくさ』をどうのりこえるか——生活と発達の障害」

第1回は下記の内容でおこないます。

育てにくい子にはわけがある

木村 順氏（療育塾ドリームタイム主宰）

講師プロフィール

日本福祉大学社会福祉学部、金沢大学医療技術短期大学部を経て作業療法士。うめだ・あけぼの学園（東京）、千葉県医療技術大学校などでの臨床・教育活動ののち、2004年に「療育塾ドリームタイム」を設立。都立保健科学大学（現、首都大学東京）大学院で修士号の取得もされつつ、「療育塾ドリームタイム」を拠点に「気になる子」、自閉症やADHD、LDなど、発達に困難のある子どもたちの保護者の相談や療育にあたってこられました。認知発達や言語発達の基礎として「身体」への視点を大切にされており、本講演では、感覚統合の考え方を参考にしながら、具体的な支援のあり方をわかりやすくご紹介くださいます。

《主な著書》

- 木村順「育てにくい子にはわけがある—感覚統合が教えてくれたもの」（大月書店）
- 木村順「これでわかる“気になる子”の育て方」（成美堂出版）
- 木村順「発達障害の子の感覚遊び・運動遊び—感覚統合をいかに適応力を育てよう」（講談社）など。



日時：2011年11月20日（日）13時30分～15時30分

会場：滋賀県立大学交流センター1階研修室

参加費：無料（事前登録も必要ありません。）

▼ JR彦根駅からバスで13分/タクシーで8分 ▼ JR彦根駅からバスで16分/タクシーで10分



主催：滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクト
障がいのある子と保護者の共助サークル「みんなあつまれ」
後援：日本臨床発達心理士会京都・滋賀・奈良支部

＜問合せ先＞ 滋賀県立大学子ども未来応援プロジェクト
〒522-8533 彦根市川坂町2500
滋賀県立大学人間文化学部 竹下秀子研究室気付
子育て応援ラボうみかぜ
Tel: 090-7343-2405 Fax: 0749-28-8559
E-mail: usp-umikaze@nifty.com
URL: <http://umikaze.sub.jp/kodomo/home.html>